

◆**単元名**：第2章 人間を尊重する日本国憲法 3 私たちの平和主義

「②日本の安全保障と平和主義のこれから」(教科書 pp.68-69)

◆**本時の目標**：

沖縄の米軍基地の現状や自衛隊の海外派遣についての視覚教材を切り口として、日本の安全保障や平和主義について多角的な視点で話し合い、理解を深めるとともに、当事者意識を育む。

《本時の展開例》

	学習活動	留意点	デジタル教科書・教材
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ●写真を見て考察し、班内（*4～5人で一つの班）で意見を出し合う。 【問】どこの写真だろう。 ●本時の学習内容や目標を想起する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「沖縄」や「オスプレイ」などの正答を無理に求めず、考えたり意見を表明したりする準備活動と位置づける。 ・基地のある日常生活に気づかせ、想像させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書〈p.68・5〉「保育園の上空を飛ぶオスプレイ」を、タイトルを伏せた状態でスクリーンや電子黒板等に映し出す。
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ●日本に米軍基地が存在するきっかけになったできごとと、基地が沖縄に集中している現状を理解する。 □AとBの2つのグループのカードを結びつけながら、班で話し合う。 【問】それぞれの立場から沖縄の基地はどう見えるのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基地の背景や現状とともに、「サンフランシスコ平和条約」と「日米安全保障条約」の関連も理解させたい。 ・Aのカード（日本政府／アメリカ政府／本土の人々／沖縄の人々）とBのカード（思い／思惑）を班ごとに用意し、どの組み合わせのカードでどのような考え方が想起できるのかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書〈p.68・動画「日本にある米軍基地と沖縄の現状」〉を見せ、日本が米軍基地を受け入れた背景や現状について説明する。 ・AとBのカードで、どのような組み合わせが班の中であげられたか（*できればその説明も）について、話し合いの結果をいくつかの班から発表してもらい、スクリーン上で確認し合う。
	<ul style="list-style-type: none"> 【問】自衛隊は外国でどのような活動をしているのだろうか。 □自衛隊の海外派遣についてのア～エの意見カードから、最も共感できるものを一つ選ぶ。 【問】選んだ理由を話そう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ここでは班ではなく、個人とのやり取りでまずは進め、自衛隊の海外派遣に関する知識を全体的に深めさせたい。 ・それぞれの生徒がどのカードを選び、またなぜそれを選んだのか、時間に応じて班の中で共有させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書〈p.69・6〉「自衛隊の海外での主な活動」をスクリーンに大きく写し出し、生徒の発言に沿って、自衛隊の海外派遣の実例を紹介・確認する。 ・ア～エのカード（海外派遣賛成／海外派遣反対／国連の活動限定／武力行使も可など）を、スクリーンに写しながら、いくつかの班の代表者が発表を行う。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ●授業を振り返って、自分が感じたことや考えたことを書いてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な意見に触れただけにとどまらず、そこから自分なりの見解を導き出させたい。 	

◆指導にあたって：

- 高校生であればディベートをしてみたいテーマだが、中学生は予備知識が少ない分、何もない状態から意見を出し合うのは難しい。一方で、この内容を「教えよう」とすると、「一方通行型」となり生徒は思考しようとしなくなる。そこでその中間的な位置づけとして、カードを用いたグループワークを設定した。
- 沖縄の米軍基地問題については、それぞれの立場から生じるさまざまな見解があること、また生徒同士がそれについてさまざまな考えをもっていることをお互いを知ることで、生徒がより主体的にテーマについて学習し、理解を深めていくことが期待される。
- 自衛隊の海外派遣についても、それぞれが考察したことを共有し合うことで、さらにテーマへの深い洞察や自分自身の考えを再構築することに結びつけていけるよう配慮したい。

◆デジタル教科書活用のねらい：

- 班での作業が中心になるが、デジタル教科書を大画面で生徒全員に同時に見せることで、集中して効率よく資料を読み解くことができるよう、効果的に活用したい。
- 動画を自由に再生・停止して適宜解説を加えたり、生徒の発言に沿って地図上に自衛隊の活動内容を表示したりするなど、授業の流れや生徒の反応に合わせて、円滑に操作して活用したい。



デジタル教科書 p.68 『見てみよう』
上の「動画アイコン」をクリック。
・再生/一時停止ボタンや、再生位置ボタンを操作して、適宜解説を加える。

デジタル教科書 p.69・⑥『自衛隊の海外での主な活動』をクリック。
・年号をクリックして地図上に活動の内容を表示しながら、効果的に解説を補足していく。



◆授業の改善案・さらに活用するポイント：

- 導入部での p.68・⑤「保育園の上空を飛ぶオスプレイ」の写真の活用では、実際にオスプレイが上空を飛行している音声を探して生徒に聞かせたり、p.69・⑥「自衛隊の海外での主な活動」の学習で、実際の自衛隊の活動の写真や動画を生徒に見せたりできると、より効果的な学習が期待できるだろう。
- 沖縄の米軍基地問題についてのグループワークの際には、組み合わせたカードを自分が共感できるものの順に並べ、その理由も含めて班内で話し合い、討論してみるのも有効な学習方法だと考えられる。